

長寿医療研究開発費 平成30年度 総括研究報告

老年医学における外国人研究者受け入れ体制と国内外ネットワーク構築の現状と 課題に関する研究（30－15）

主任研究者 遠藤 英俊 国立長寿医療研究センター 長寿医療研修センター長

研究要旨

本研究はアジア諸国を中心に、老年医学と認知症に関する研究者のネットワークと国際共同研究体制の構築を目指すことである。これまでにタイやロシアとの調査交流研究については、単年で外部研究費の獲得を行ってきたが、継続資金の取得は困難な状況にあり、平成30年度には本開発費研究により、タイ、ロシアに留まらず、インドネシアやシンガポール等との研究者・行政機関、さらには日本老年医学会や慶応大学、名古屋大学、長崎大学等との連携ネットワークの構築により、国際共同研究や認知症に関する連携ネットワークの構築と課題についてマッチングを行い、情報や意見交換を行う国際交流を推進してきた。具体的には認知症の疫学、健康寿命の情報収集と発信をメインテーマとした。また次年度には、各国のキーパーソンにインタビュー調査を行い、必要な援助や支援について調査を行う計画である。本研究は当ナショナルセンターとしての中期目標にある医療の均てん化並びに情報収集及び発信に関して有用であり、必須な研究である。

主任研究者

遠藤 英俊 国立長寿医療研究センター 長寿医療研修センター長

分担研究者

牧 陽子 国立長寿医療研究センター 研修開発研究室長

北川 雄一 国立長寿医療研究センター 医療安全推進部室長

A. 研究目的

本研究の目的はアジア諸国を中心に、老年医学と認知症医療とケアに関する研究者のネットワークと国際共同研究体制の構築を目指すことである。これまでにタイやロシアとの調査交流研究については、開始したばかりで、十分ではなく、継続的な支援と協力が必要である。平成30年度には本開発費研究により、タイ、ロシアに留まらず、ベトナムとの研究者・行政機関、さらには日本老年医学会や慶応大学、名古屋大学、長崎大学等との国際連携ネットワークの構築により、国際共同研究や認知症に関する連携ネットワークの構築と課題についてマッチングを行い、共同研究を推進した。具体的には認知症関連活動の支援、認知症の疫学、100寿者研究の情報収集と発信をメインテーマとした。本研究は当ナショナル

センターとしての中期目標にある医療の均てん化、並びに情報収集及び発信に関して有用であり、長寿医療研究センターの社会的認知を得るために重要な研究である。

B. 研究方法

(1) 全体計画

国際的にはタイのマヒドール大学との認知症と老年医学関連支援事業を行うこと、さらにロシアとはロシア高齢科学クリニックセンターとの連携強化、市民公開講座の開催、100歳高齢者に関する共同研究を進展させる計画である。インドネシアとは認知症の関連支援事業の情報収集と連携強化を図ることとする。

また国内では、長寿医療研究センター内で海外連携の調査を行い、講師陣の整備を行う。また慶応大学、愛知医大、名古屋大学、長崎大学を中心に連携のネットワークの構築を行う計画である。また各国のキーパーソンに教育研修等のニーズ調整を行う。

(2) 年度別計画

初年度

国際交流のネットワークを構築する

これまでのタイとロシアの関係強化をはかる

新規に中国、インドネシアとの関係構築をはかる

キーパーソンへのニーズ調整を行う

次年度

継続可能な国際交流ネットワークの構築

受け入れ講師陣、研究機関連合を構築する

国際会議やフォーラムとの連携をはかる

(倫理面への配慮)

本研究は国際研修のネットワーク化であり、個人情報にもとづく研究は行っていない。すなわち本研究は患者や人間を対象とせず、基本的に国際交流やネットワーク構築などが中心であるため、倫理的には直接は関係しないが、対象となる名簿管理や講師陣の情報などの管理は適切に行うこととする。

C. 研究結果

海外よりの視察・研修・研究による受け入れは年々増加しており、国立長寿医療研究センターにおいても、適切な対応が求められている。特に高齢化がすすむタイ、台湾、その他東アジアからの来訪は激増している。平成30年度の海外よりの受け入れ一覧は表に示した。さらに国際交流については、長寿医療研究センターで毎年開催している国際シンポジウムの他、今年度初めて老年医学・認知症セミナーを開催し、講演、意見交換を行っ

た。

タイとの交流はシリラート病院がサムットサコン病院との共同で、我々の働きかけにより認知症プロジェクトが開始されており、メモリークリニックの創設、デイサービスや家族教室を開催した。ロシアとは引き続き研究者むけのセミナーや市民公開講座を開催した。

インドネシアとも連携を開始しており、インドネシアでは2015年には120万人の認知症の人がいると予測されており、2025年には400万人まで増えるものと予測されている。高齢化に伴い社会の認知症に対する関心も少しずつ高まっている。インドネシアアルツハイマー協会は、2018年に55回の家族会を開催した。これまでに12の地域で169回の家族会を開催している。Dementia Friend としてはすでに25,000人を超える人が参加している。アルツハイマーデーの月には14の地域で、30の各種イベントを開催した。アルツハイマー協会のボランティアは5,000人を超えている。

講師陣の確保

講演テーマの企画、講師の選択が本ネットワーク構築の鍵となる。しかしながら常に通訳をつけることは困難であり、英語で講義ができる講師陣の確保が重要である。

講師陣のリスト

長寿医療センター内

院長、研修センター長、ロボットセンター長他6名

愛知医大 1名

名古屋大学 1名

相手先ネットワーク

タイ シリラート大学 サムットサコン大学

ロシア 高齢者クリニカル研究センター、サンクトペテルブルク大学、TMG

インドネシア インドネシア ADI, アトマジャヤ大学

他

海外研修生/視察受入れ一覧

平成30年

度

No.	研修・視察目的	日数 等	人 数	国名	所属先	職種
-----	---------	---------	--------	----	-----	----

1	研究	30	1	台湾	高雄榮民総合病院	医師
2	研究	61	1	台湾		薬剤師
3	研究	8	1	イタリア		研究者
4	研修	92	1	タイ	department of orthopaedic rachapipat hospital	医師
5	研究	30	1	台湾	高雄榮民総合病院	医師
6	大阪医科大学 中山 国際医学医療交流セ ンター留学生 施設見 学	1	2	タイ	マヒドン大学	医学部生 医学部生
			2	台湾	国立台湾大学	医学部生 医学部生
7	大阪医科大学 中山 国際医学医療交流セ ンター留学生 施設見 学	1	2	韓国	ソウル国立大学	医学生 6 年 生 医学生 6 年 生
8	施設見学	1	10	台湾	台湾大学病院	医師・看護 師
9	施設見学	1	40	タイ	バンコク保健省	医師他
10	老年医学・認知症セミ ナー	1	2	マレーシア		学生
			1	タイ		
			5	ミャンマー		
			1	カンボジア		

			1	モンゴル		
			1	バングラデシュ		
			2	アフガニスタン		
			1	ラオス		
			1	ベトナム		
			3	ロシア		
11	施設見学	1	3	韓国	Sunchang Health and Longevity Institute	行政他
12	施設見学	2	7	台湾	國立中山大學	医師他
13	施設見学	1	9	イスラエル		看護師
14	施設見学	1	10	台湾		医師他

D. 考察と結論

高齢者医療に関する国際交流ネットワークシステムの構築を行った。まだ初期段階ではあるが、着実に成果をあげている。タイではタイ政府、シリラート病院、サムットサコン病院、チュラロンコン大学等と連携を開始している。また今年度は、タイの研究者が多数長寿医療研究センターの視察、研修に訪問した。これらの取組により、今年度の目標は達成した。次年度にさらに成果をつなげたい。

E. 健康危険情報

該当せず

F. 研究発表

1. 論文発表

1. 遠藤英俊：医療と介護の連携で取り組む認知症ケア：介護福祉 2018 夏季号 No. 110, P21-27
2. 遠藤英俊：超高齢社会における「認知症サポート医」養成の重要性について，月

刊新医療 2018 年 8 月号, P18-21

3. 遠藤英俊：「認知症への新たなアプローチ」, 聖マリア医学 43 巻, 2018. 7, P2-7
4. 遠藤英俊:老年医学（下）これからのケアマネジャー, 日本臨牀 76 巻 増刊号 7 別刷, 2018. 8. 31, P782-786
5. 松村亜矢子, 岸博之, 後藤文彦, 大釜典子, 島田裕之, 遠藤英俊：地域在住高齢者の認知・身体・心理機能に及ぼすリズムシンクロエクササイズの効果, 健康支援第 20 巻第 2 号, 173-181, 2018. 9. 1
6. 遠藤英俊：認知症トータルケア「病院勤務の医療従事者向け認知症対応力向上研修事業」, 日本医師会雑誌 第 147 巻・特別号（2）, 388-389, 2018. 10. 15

2. 学会発表

1. Ogama N, Ueno M, Endo H, Sakurai T, Nakai T. :Long-Term Physical Exercises is Associated with Reduced White Matter Hyperintensities in Older Adults,Brain Connects 2018 (Singapore, June 22, 2018)
2. 遠藤英俊、奥村理恵、磯貝善蔵：第 34 回日本臨床皮膚科医会総会・臨床学術大会 学校保健・在宅委員会コラボセッション「皮膚科医は高齢者虐待とどう向き合うか」講演, 2018 年 4 月 28 日(土), 仙台
3. 遠藤英俊：第 33 回日本老年精神医学会 シンポジウム 10 認知症の運転免許；診断例の実際と問題点「診断や返納に関する問題点」, 2018 年 6 月 30 日(土), 郡山市
4. 遠藤英俊：第 10 回日本静脈経腸栄養学会近畿支部学術集会 特別講演「高齢者の栄養に関するトピックス」, 2018 年 7 月 7 日(土), 神戸市
5. 大釜典子、上野美果、遠藤英俊、櫻井孝、中井敏晴：長期的な身体活動と大脳皮質下病変との関連, 第 37 回 日本認知症学会学術集会 2018 年 10 月 12 日－14 日 北海道
6. 遠藤英俊：日本 NP 学会 第 4 回学術集会 シンポジウム 高齢者医療における NP の役割, 2018 年 11 月 23 日(金), 仙台市

G. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
なし